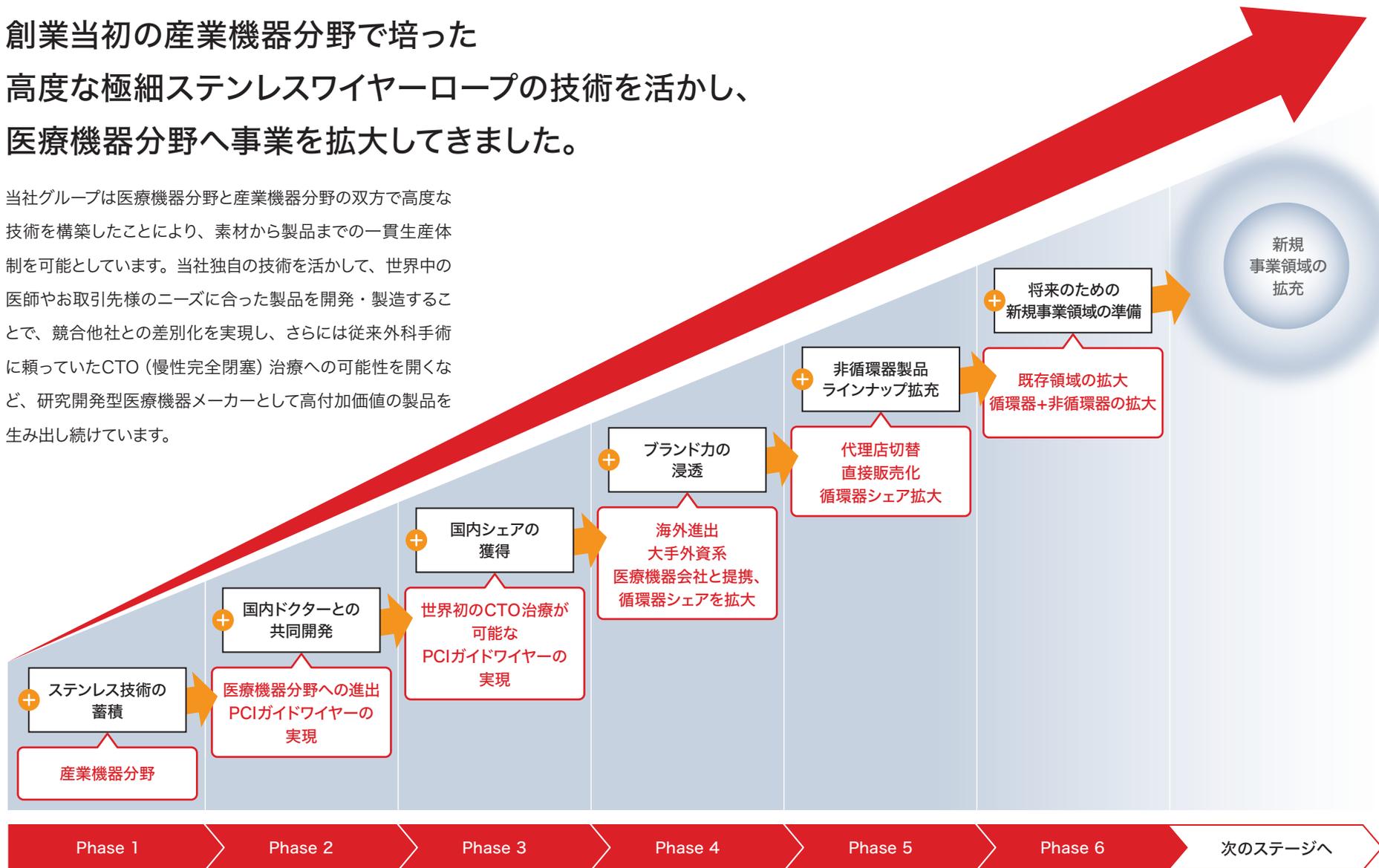


当社の成長フェーズ

創業当初の産業機器分野で培った
高度な極細ステンレスワイヤーロープの技術を活かし、
医療機器分野へ事業を拡大してきました。

当社グループは医療機器分野と産業機器分野の双方で高度な技術を構築したことにより、素材から製品までの一貫生産体制を可能としています。当社独自の技術を活かして、世界中の医師やお取引先様のニーズに合った製品を開発・製造することで、競合他社との差別化を実現し、さらには従来外科手術に頼っていたCTO（慢性完全閉塞）治療への可能性を開くなど、研究開発型医療機器メーカーとして高付加価値の製品を生み出し続けています。



当社概要

医療機器分野における卓越した開発力と製造技術で、世界で高いシェアを誇っています。

世界の医療と人々に貢献

世界の医療と人々のQOL向上
当社の製品が救う患者様の数*1



グローバルに事業を展開

現場主義×スピード
拠点数と販売国数



研究開発型企业

売上高研究開発費比率



ASAHI DNAを継承する人財

従業員数 グローバル

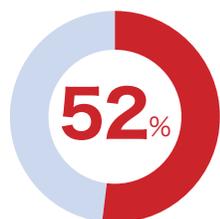


売上高 **90,101** 百万円
営業利益 **18,030** 百万円

売上高の成長
過去10年間のCAGR



PCIガイドワイヤー
グローバルシェア*1



特許/意匠保有件数



外国人管理職比率 グローバル*2

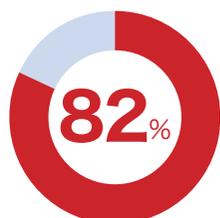


女性管理職率 グローバル*2



「グローバルニッチ
トップ企業100」
(経済産業省)に認定
(2020年)

海外売上高比率



環境負荷低減への取り組み



■ Scope 1+2削減目標

2030年までに
(2022年6月期比) **30** %削減

■ Scope 3削減目標

2023年6月期の
売上高原単位排出量の
水準を維持

*1 当社推計

*2 当社グループにおける各規定の管理職基準に基づき算定しています。

当社の事業と製品

産業機器用のワイヤーロープ製造を起点として
医療機器分野へ事業を拡大してきました。

当社グループは、カテーテル治療*に不可欠なガイドワイヤーをはじめとした医療機器を主力として、開発・製造・販売を行っている研究開発型の医療機器メーカーです。

*カテーテル治療：手首や足の付け根からカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、病変を血管内で治療する方法です。開胸などの外科手術を伴わず治療できることで、患者様にとってより痛みが少なく（低侵襲）、早期の社会復帰が可能となることから、さまざまな分野・病気の治療に用いられています。

デバイス事業 13%

メディカル事業 87%

産業機器分野 5%

医療機器分野 95%

産業部材



トルクロープ



シンクロメッシュロープ

医療部材



ケーブルチューブ



ワイヤーロープ

自社ブランド製品・OEM 供給品

〈主な自社ブランド製品〉



PCIガイドワイヤー

詰まったり狭くなったりした血管を通過し、カテーテル治療に使用するPCIバルーンカテーテルやステントなどのさまざまな医療機器を病変部まで運ぶために必要なガイドとなるのがPCIガイドワイヤーです。



PCIガイドワイヤーカテーテル

穿刺部から冠動脈の入口にかけて留置される中空のチューブ。PCIガイドワイヤーやPCIバルーンカテーテルなどのさまざまな医療機器を冠動脈の入口まで安全に運ぶ役割を果たします。



PCIバルーンカテーテル

詰まったり狭くなったりした血管を押し広げるためのカテーテル。PCIガイドワイヤーに沿って挿入され、先端についた直径1~5mm程度バルーンをふくらませることによって内側から血管を広げる機能を持っています。



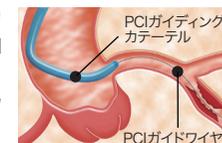
貫通カテーテル

PCIガイドワイヤーが詰まった血管を通過する際に、PCIガイドワイヤーの通過を補助するカテーテルです。

PCI治療(経皮的冠動脈形成術)とは

① PCIガイドワイヤー通過

PCIガイドワイヤーと呼ばれる細い管を血管に挿入し、その中にPCIガイドワイヤーを通します。



② PCIバルーンカテーテル挿入

PCIガイドワイヤーに沿って、PCIバルーンカテーテルを血管の狭くなっている部分まで進めます。



③ PCIバルーンカテーテル拡張

バルーン(風船)をふくらませ、内側から血管を押し広げます。



④ PCIバルーンカテーテル抜去

狭くなっていた部分が広げられ、血液の流れが良くなります。



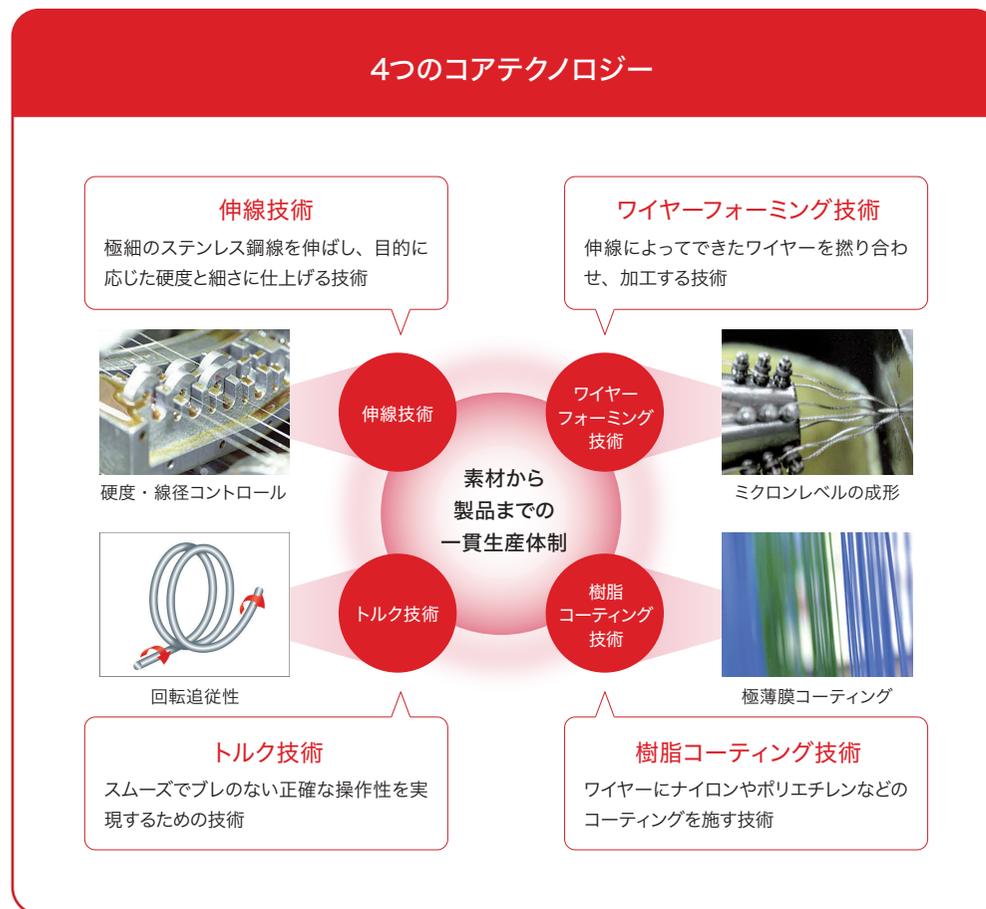
創業時

現在

競争力の源泉と技術的イノベーション

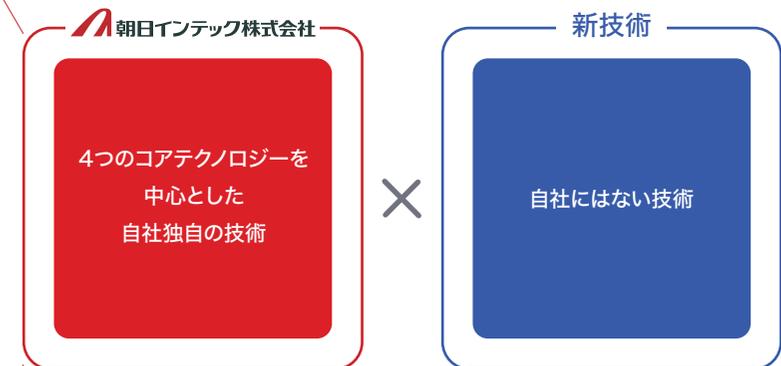
コアテクノロジーを複合的に組み合わせ、
高性能製品群を創出しています。

当社グループは研究開発型企業として、常に高いレベルでの製品づくりを実現しています。それを可能にしているのは、お客様からの高度なニーズにお応えする過程で生み出され、培われた数々の独自技術です。「伸線技術」「ワイヤーフォーミング技術」「樹脂コーティング技術」「トルク技術」という4つのコアテクノロジーを自社で保有し、素材から製品までの一貫生産体制のもと、複合的に技術を組み合わせ、高性能製品を生み出しています。



M&Aや提携先企業の新たな技術と

朝日インテックのコア技術・医療機器分野のノウハウの融合により
技術的イノベーションによる新規事業の創出を目指してまいります。



提携・M&A・出資など

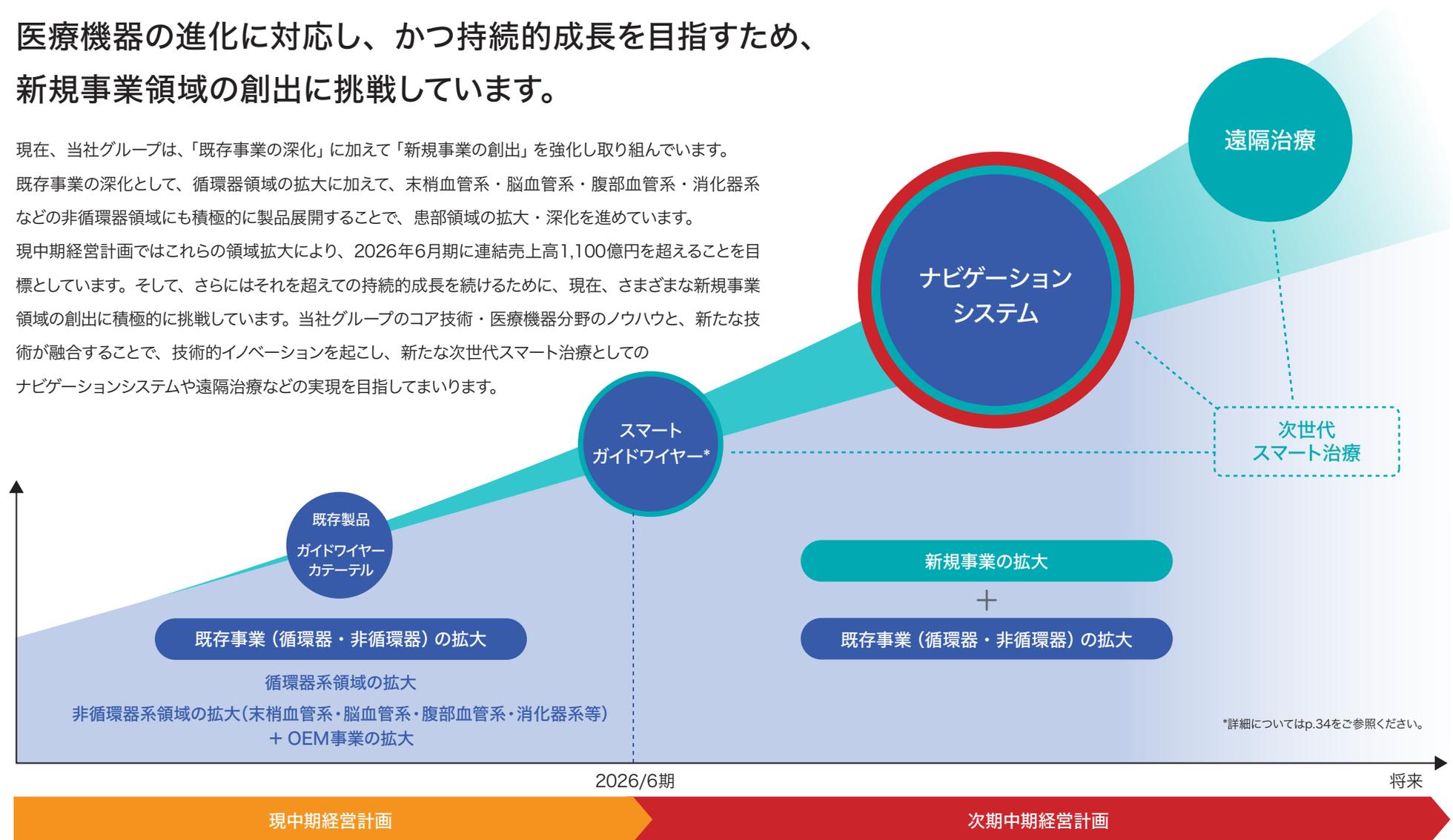
技術的イノベーションによる新規事業の創出

イノベーションを通じた現場の課題解決 (→p.57参照)

将来ビジョン

医療機器の進化に対応し、かつ持続的成長を目指すため、
新規事業領域の創出に挑戦しています。

現在、当社グループは、「既存事業の深化」に加えて「新規事業の創出」を強化し取り組んでいます。
 既存事業の深化として、循環器領域の拡大に加えて、末梢血管系・脳血管系・腹部血管系・消化器系などの非循環器領域にも積極的に製品展開することで、患部領域の拡大・深化を進めています。
 現中期経営計画ではこれらの領域拡大により、2026年6月期に連結売上高1,100億円を超えることを目標としています。そして、さらにはそれを超えての持続的成長を続けるために、現在、さまざまな新規事業領域の創出に積極的に挑戦しています。当社グループのコア技術・医療機器分野のノウハウと、新たな技術が融合することで、技術的イノベーションを起こし、新たな次世代スマート治療としてのナビゲーションシステムや遠隔治療などの実現を目指してまいります。



*詳細についてはp.34をご参照ください。

新規事業の種蒔時期
既存事業の増加が中心

新規事業の拡大

沿革

ASAHI DNAを受け継ぎ、未来へ歩み続けます。

